

# 商学部協定留学帰国報告書(ESC レンヌ商科大学)

留学期間： 2014年9月～2015年4月

商学部3年



## 1. 出発前の準備

学生の中に留学したいと中学生の頃から思っていて、将来国際的に働きくという憧れに近づく第一歩として、私は協定校留学に挑戦しました。まだビジネスを専門的に勉強していない段階での留学は不安でしたが、早めに幅広い科目に触れることで今後の大学生活の目標になるものを見つけたいと思う強い気持ちがありました。

語学については、私は英語での授業を留学先で初めて受けるのに自信がなかったので、明治大学の英語開講の授業を履修しました。現地の授業ではビジネス英単語が多く出てくるので、勉強しておくといいと思います。フランス語の学習は仏検をベースにしていました。それと、フランス語プラスワンを履修しました。

フランス留学の準備で一番大変なのは VISA の取得です。求められる書類が多いので、一つ一つ確実に準備を進める必要があります。また、7月には VISA 申請が殺到します。書類提出(パスポート含む)から VISA が届くまで長く日にちがかかることもあるので、早めの準備をお勧めします。

現地の学校からよくメールが届きます。メールの本文や添付の資料によく目を通し、分からないことがあれば質問をし、しっかりと準備をしておけば現地の生活では問題はないと思います。

## 2. 協定校での諸手続き

留学プログラムの最初にオリエンテーションウィークがあり、その時に銀行口座を開設したり、健康保険・住宅保険への加入や、長期滞在許可書を受け取るための書類を提出します。本来なら各機関へ自分で行かなくてはなりません。レンヌ商科大学ではオリエンテーション中であれば一括して学校で手続きをすることができたので助かりました。

中でも一番大切なのは、OFII(移民局)へ提出する長期滞在許可書を取得するための書類の手続きです。その時必要な書類の中に、**VISA DE LONG SEJOUR – DEMANDE D’ATTESTATION OFII** (VISA 申請時に提出し、戻ってくるもの)があります。それは原本のみ有効となる大切なものなので失わないよう気を付けてください。10月の終わりに簡単な健康診断を受けてようやく長期滞在許可書をもらうことができました。健康診断の際、予防注射の接種歴を聞かれるので、今まで受けた予防接種の一覧を英語で作って行くと安心です。

## 3. 宿舎と日常生活

私はレンヌではアパートメントホテルで一人暮らしをしていました。私が住んでいたところはレンヌの端にあり、街の中心まで遠いのが難点でしたが、学校までは徒歩15分で近くには比較的安くて品揃えの良い大型スーパーがあったので生活しやすかったです。半年で帰ってしまう留学生の多くは寮やルームシェアを利用していました。各寮でパーティーがあったり、一緒に住んでいる友達と外出している学生が多かったので、半年くらい寮で過ごしてみても良かったと今振り返って思います。入居して、アパートのWiFiが壊れていたため、家族・学校とのやり取りができなくて大変困りました。直してもらうのに一週間かかりました。

普段は学校へ行き、授業を受け、その後カフェテリアや図書館で勉強して一日が終わるという生活をしていました。ESCには**Student Association**と言われる学生グループがあり、その中の**Well’come** チームがよく留学生向けのイベントを開きます。それには留学生が多く参加するので友達作りのきっかけになります。秋学期の科目はほとんど留学生だけの授業なのでなかなかフランス人の友達を作る機会がなかったのですが、留学生がフランス人のバディを作るという、**Buddy Party** というイベントで日本に来たことがあるフランス人の女の子と友達になることができました。彼女は次の学期から**Well’come** チームに入る女の子だったので私にとっても良くしてくれました。また、春学期には、**Chinese New Year** というイベントでお寿司をふるまってほしいというリクエストがあり、家でおいしく作れるように試行錯誤練習して出店したところ、沢山の学生から「おいしかったよ」と言ってもらえて嬉しかったです。

週末は土曜午前中に開かれるマルシェでぶらぶらしたり、モンサンミッシェルやサン・マロ等の近くを観光したり、お友達の家でホームパーティを開いたりして過ごしていました。学期の最後の一か月はかなり忙しいので前半に沢山遊ぶことをお勧めします。フランスの色々な町や他のヨーロッパの国々へ足を運ぶと文化の違いなど見えて面白いです。



一番仲良くしてくれた中国、台湾、ロシアの友達



手まり寿司を作りました。ツナマヨネーズは大人気でした。



ベトナムの女の子を誘ってパリのディズニーランドへ行きました。





帰国直前に Buddy の女の子が実家に招待してくれました

#### 4. 協定校のカリキュラム・授業

ESC はフランスのグランゼコールという、高校卒業後二年間学校で缶詰めになって専門的でハイレベルな勉強をした学生が通うことができるビジネススクールです。そのため、フランス人の学生はとても優秀です。そしてその学生は全員英語を話すことができます。授業は留学生だけのクラスとフランス人の学生と一緒にのクラスがありました。春学期は留学生の人数が減るのでほとんどの授業をフランス人の学生と一緒に受けました。

授業は日本とは形式が異なり、少人数で毎回出席をとり、全ての科目でグループプレゼンテーションがあります。全科目の学期最後の授業で **Final Presentation** が課されるので 11 月と 3 月は特に忙しくなります。プレゼンテーションの際は服装も点数に入ることがあるので、スーツもしくはビジネスに適した服装が必要となります。ESC の時間割は変わっていて、一日に 90 分×2 の授業を毎週受ける科目と、一日に 90 分×4 の授業を一週間置きに受ける科目があります。一日に 90 分×5 を不定期に 4 回という体力勝負の科目もありました。選択する科目や学校側のグループ分け次第で授業がほとんどない週ができる可能性があることと、グループミーティングのための時間を作る必要があることを踏まえると半期に 6 科目がちょうど良いと私は思います。

私は前期にビジネス科目は Advertising、Managing Cultural Diversity、Logistics and Supply Chain Management、Financial Analysis、後期に Corporate Social Responsibility、Principles of Purchasing、Operations Management、Services Marketing Management、New Products and Brand Management を履修し、French Language と French Culture を合わせて 12 科目全て単位を取得することができました。私は秋学期には分野を絞らず、幅広くビジネス科目を選択し、春学期は特に興味深かったサプライチェーンとマーケティングに絞って履修しました。

それぞれの授業に思い出は残っているのですが、特に **Managing Cultural Diversity** という色々な国のビジネス環境・文化について学ぶ授業で日本がテーマの回があり、日本はジェスチャーや名刺の渡し方、働き過ぎる性格など、とにかくミステリアスな文化を持つ国だと紹介されていて、ヨーロッパの人に日本人はその

ように見られているのだと、強い衝撃を受けました。

授業ではグループワークがあるため、多国籍な学生と意見交換を行うことや、プレゼンテーションを観て今後自分がどんなプレゼンテーションをしたいか目標を見つけることができました。

## 5. 帰国準備

学期終了直前になると学校から帰国に向けてリストが送られてきます。保険や携帯会社の契約解除などほとんど全ての手続きを手紙で書かなくてははいけませんでした。フランスを出る一か月前までに手続きを済ませなくてはいけないので帰国が近づいたら早めに行動することをお勧めします。

## 6. 商学部学生へのメッセージ

私は深く考えずに学部間留学に挑戦し、英語やフランス語を習得できたらと、考えていました。プログラムが始まるとすぐに語学留学と学部留学の違いの壁にぶつかりました。英語で開講する授業を英語圏からの留学生が受けているように、海外の留学生は語学ではなくビジネスを勉強しに来ています。英語があまり流暢ではなかった私は遅れをとりグループワークで迷惑をかけることが多々あり、いきなり学部留学を選択したことを後悔したこともありました。しかし、私が頑張っ授業を聞いてプレゼンテーションの準備をしようとしているのをグループの人が見てくれて、ある授業で私の振り分けられたパートが全く分からなくて困り果てていた時に学校に遅くまで残って手伝ってくれました。初めはできなくても努力していれば自分の知識としてだんだん身に付くだけでなく、追い込まれた私を見て仲間が助けてくれるのだと、実感しました。

また、ESCは日本人がとても少なく、春学期は学校で日本人は一人でした。そのような環境はなかなか経験できませんし、自分の行動次第で日本のイメージが決まってしまうかもしれない責任感や怖さを感じ、自分が社会に出るまでにもっと成長しなくてはいけないと強く実感することができました。留学は刺激的な勉強、多国籍な学生との交流が魅力的なところですが、私はそれとともに、自分が今までいかに未熟で家族や友達に支えられ、積極的でなかったことを、留学で追い込まれたり一人になったことで気付くことができました。

留学は自分を見つめ直すきっかけにもなりますし、自分を確実に強く成長させてくれます。少しでも留学してみたいという気持ちがあるのならば時間のある学生のうちに一步踏み出してみると良い経験になります。